

11 人目につきにくい分野などへの叙勲について

日頃人目につきにくい分野で地道に功労を重ねている人々、精神的、肉体的に労苦の多い環境の下で業務に精励している人々の功績に国として報いることは、今後とも勲章制度の果たす大きな役割である。このような観点から、これらの分野の受章者数の増加には努めるべきである。（「栄典制度の在り方に関する懇談会報告書（平成13年10月29日）」抜粋）

平成27年秋の受章者数 1,358名（全体に占める割合34.2%）

（1）人目につきにくい分野にあって多年にわたり業務に精励した者

749名

＜受章者の例＞

へき地の医師・保健師、保育所保育士、障害者施設指導員、鉄道関連従事者、船員、自動車運転手、電話交換手、ボイラー技師、大工、左官、鳶、造園工、塗装工、配管工、信号工、道路工手、郵便集配員、清掃作業員、灯台灯火監視協力者 等

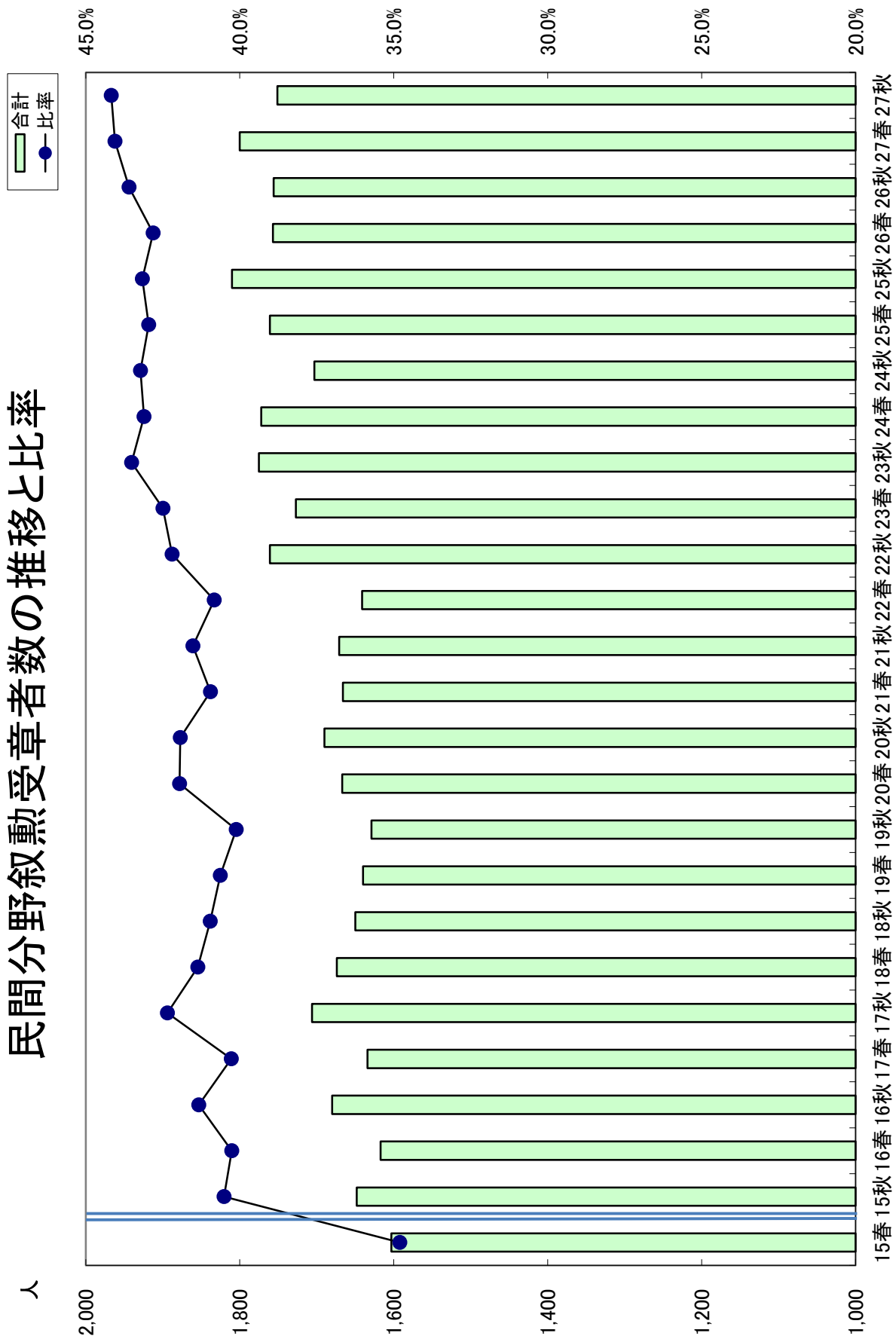
（2）精神的又は肉体的に著しく労苦の多い環境において業務に精励した者

609名

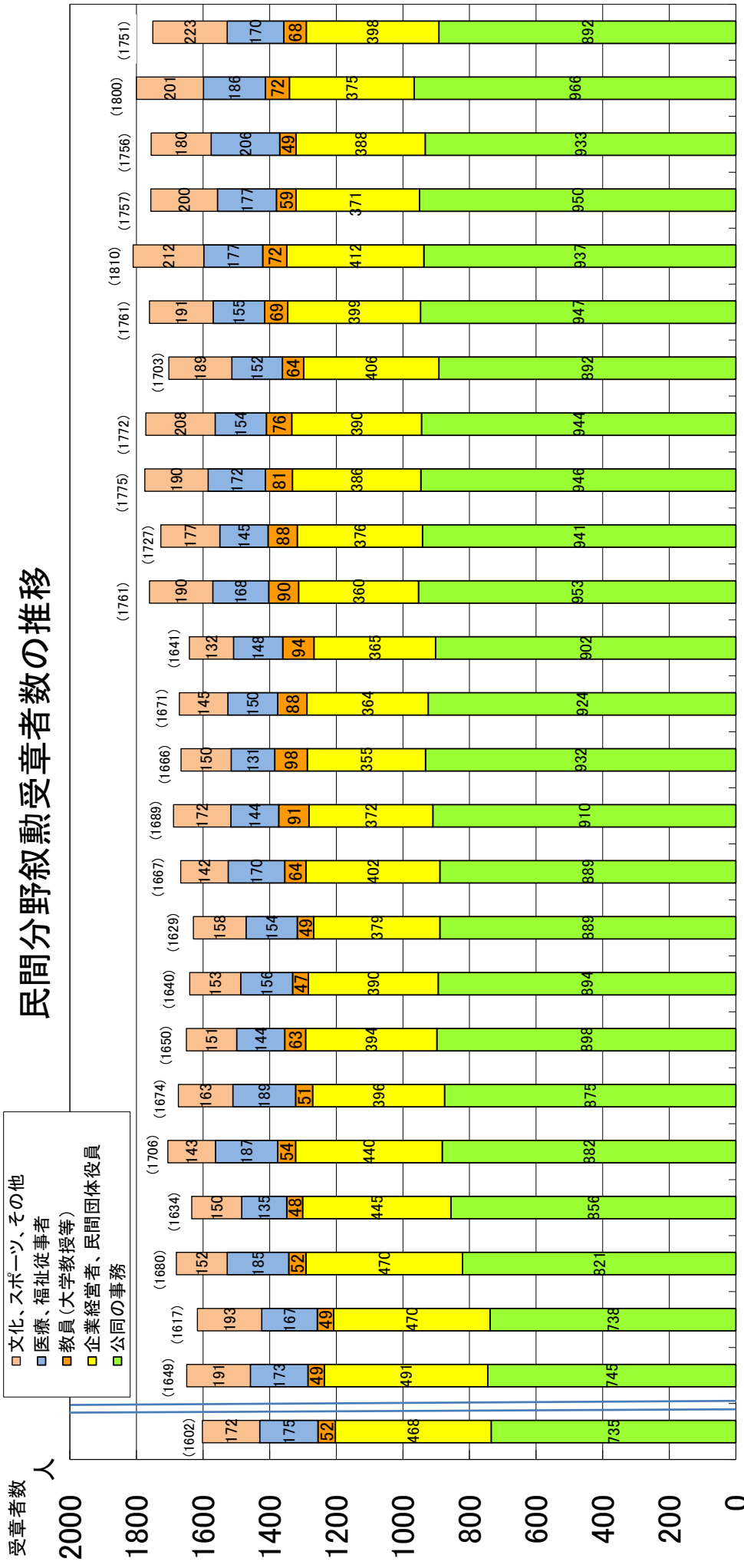
＜受章者の例＞

精神病院看護師、養護施設保母、病理細菌技師、エックス線技師、消防団員、水防団員、電気工事人、発電所保全員、ガス保全員、山岳遭難救助員、鉱山労働者 等

民間分野叙勲受章者数の推移と比率

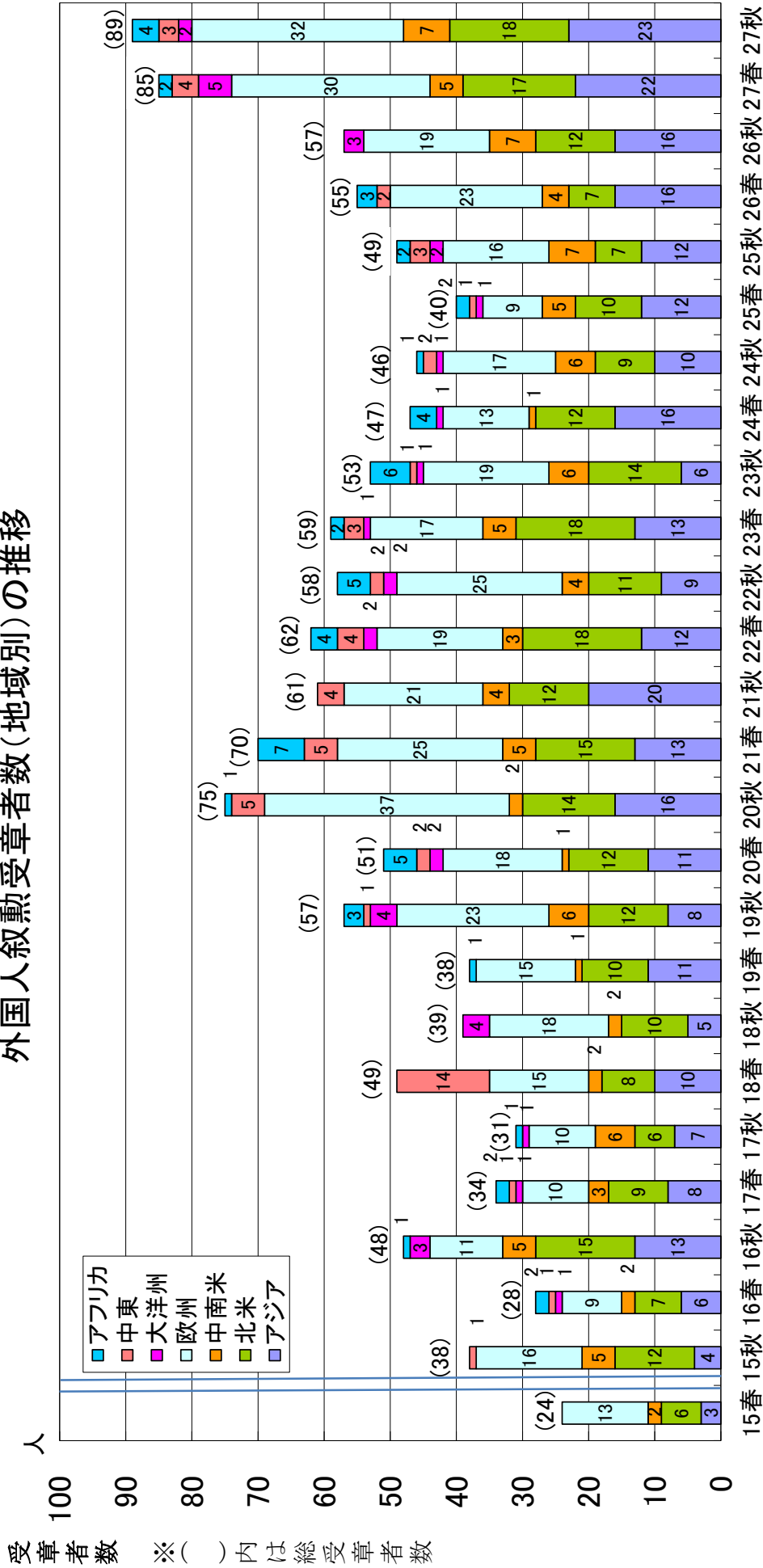


民間分野叙勲受章者数の推移

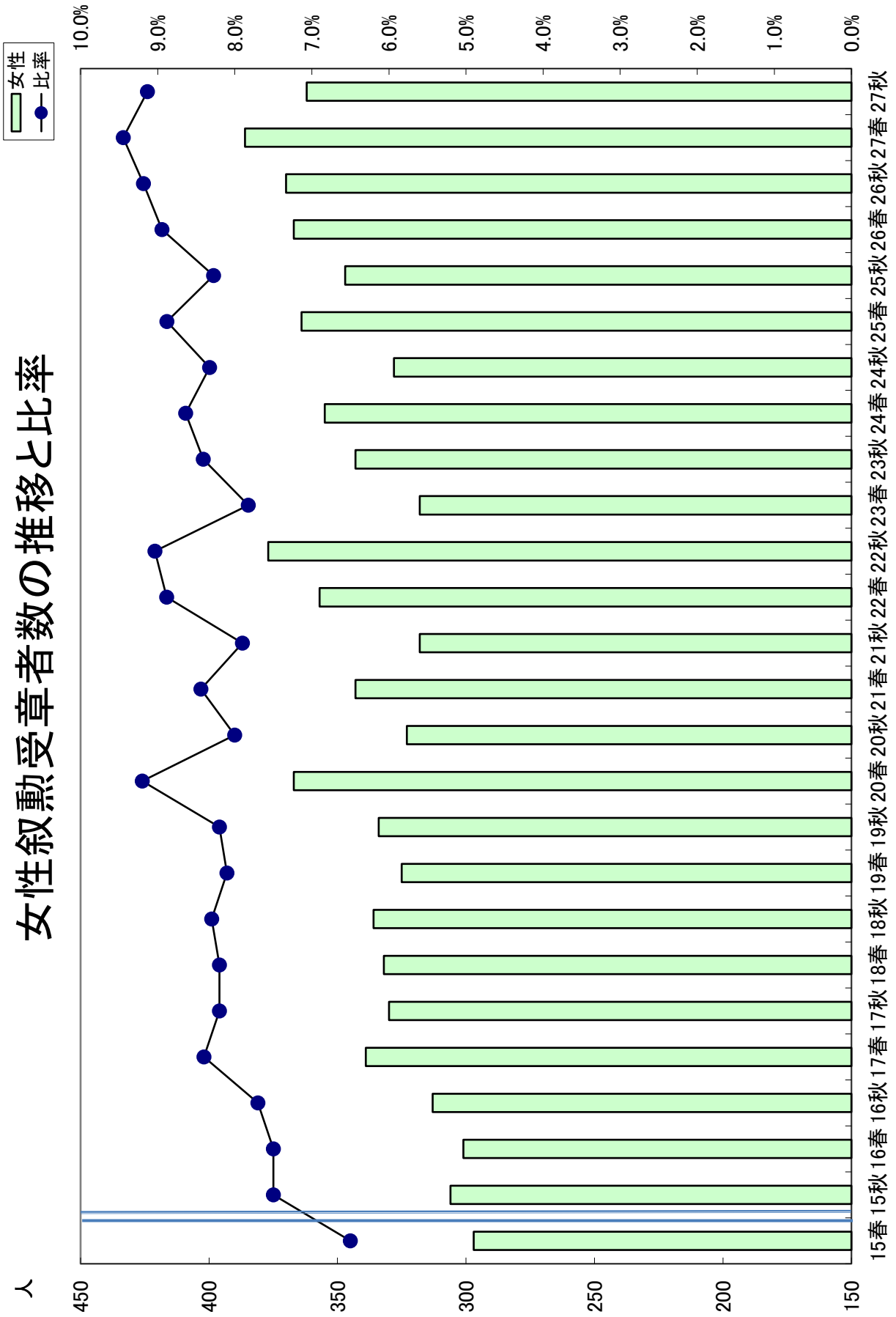


15春 15秋 16春 16秋 17春 17秋 18春 18秋 19春 19秋 20春 20秋 21春 21秋 22春 22秋 23春 23秋 24春 24秋 25春 25秋 26春 26秋 27春 27秋

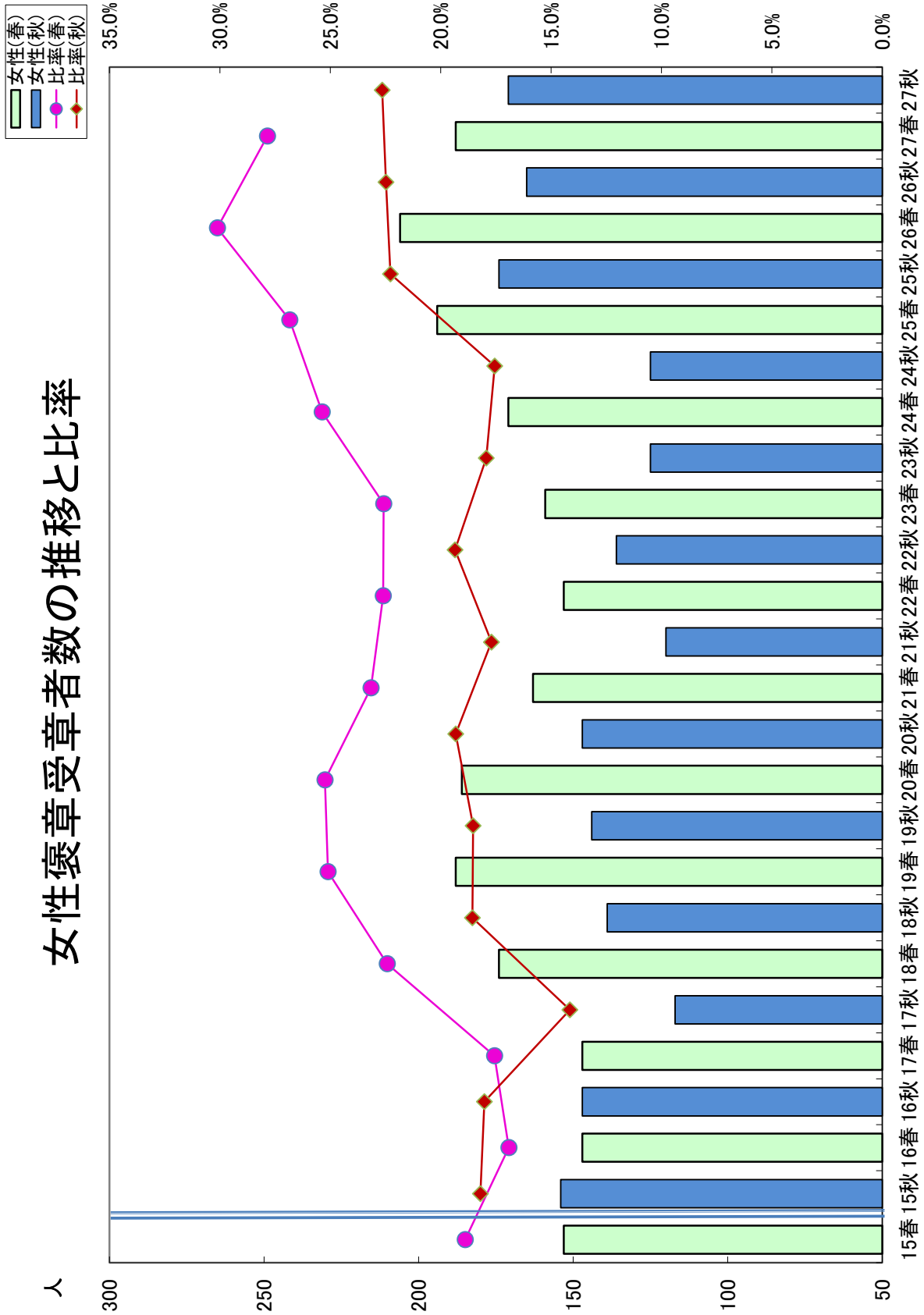
外国人叙勲受章者数(地域別)の推移



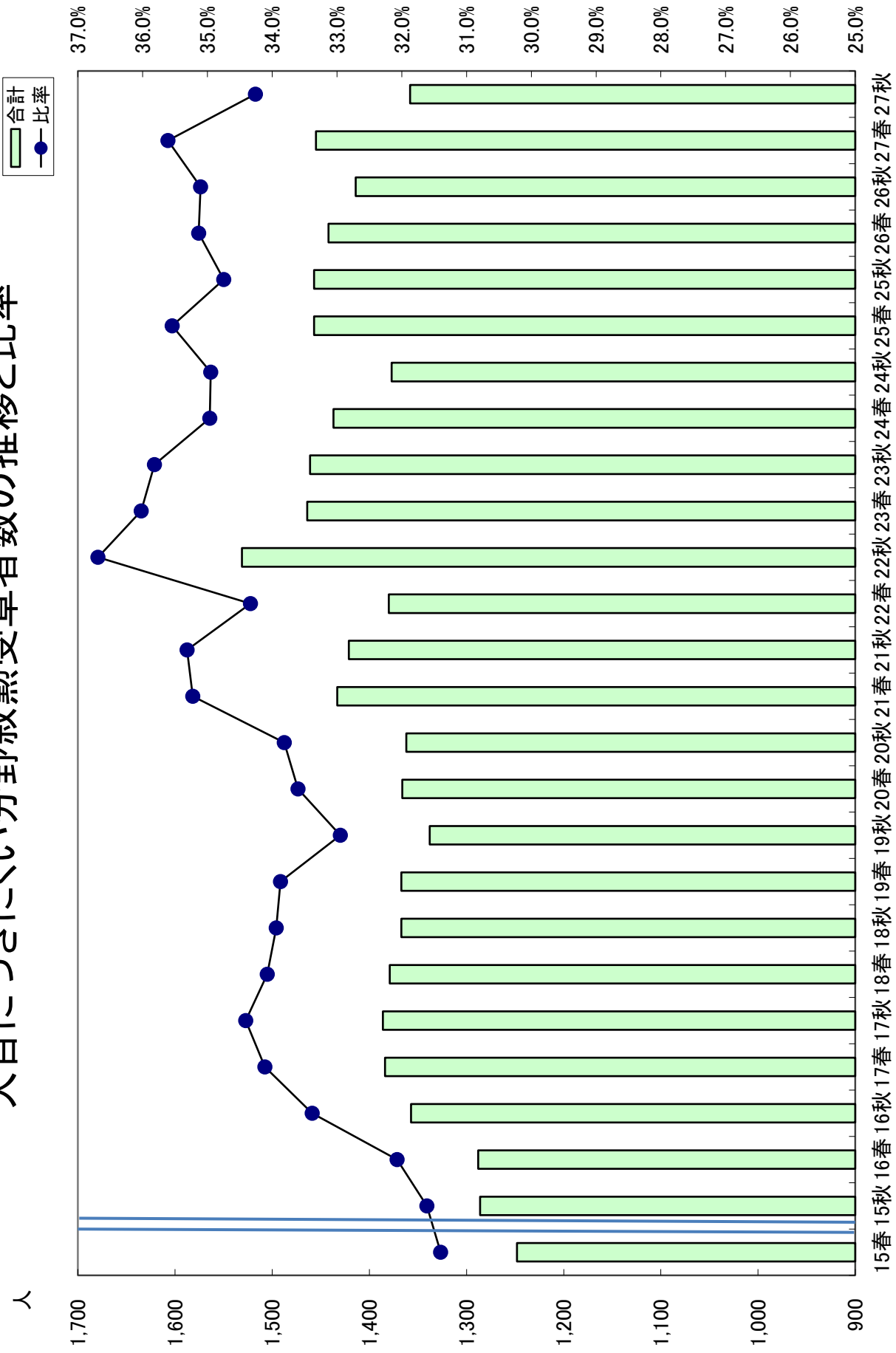
女性叙勲受章者数の推移と比率



女性褒章受章者数の推移と比率



人目につきにくい分野叙勲受章者数の推移と比率



一般推薦の受付状況及び受章状況

(1) 一般推薦の受付状況

	受付件数
1年目(H15.5~H16.4)	101
2年目(H16.5~H17.4)	58
3年目(H17.5~H18.4)	59
4年目(H18.5~H19.4)	67
5年目(H19.5~H20.4)	56
6年目(H20.5~H21.4)	58
7年目(H21.5~H22.4)	141
8年目(H22.5~H23.4)	104
9年目(H23.5~H24.4)	76
10年目(H24.5~H25.4)	117
11年目(H25.5~H26.4)	136
12年目(H26.5~H27.4)	112
13年目(H27.5~)	61
合計	1,146

※平成28年1月1日現在

(2) 一般推薦として選考された者の受章実績

	叙 勲			褒 章			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成15年秋	1	0	1	0	0	0	1	0	1
平成16年春	1	1	2	1	0	1	2	1	3
平成16年秋	4	0	4	1	0	1	5	0	5
平成17年春	1	1	2	2	0	2	3	1	4
平成17年秋	2	0	2	1	0	1	3	0	3
平成18年春	1	1	2	2	0	2	3	1	4
平成18年秋	4	0	4	1	0	1	5	0	5
平成19年春	5	0	5	3	0	3	8	0	8
平成19年秋	7	2	9	1	0	1	8	2	10
平成20年春	5	2	7	0	0	0	5	2	7
平成20年秋	3	2	5	4	0	4	7	2	9
平成21年春	4	1	5	3	0	3	7	1	8
平成21年秋	3	1	4	1	1	2	4	2	6
平成22年春	3	2	5	2	0	2	5	2	7
平成22年秋	2	1	3	0	1	1	2	2	4
平成23年春	6	0	6	2	0	2	8	0	8
平成23年秋	1	0	1	0	1	1	1	1	2
平成24年春	3	0	3	1	0	1	4	0	4
平成24年秋	3	1	4	1	0	1	4	1	5
平成25年春	2	2	4	0	0	0	2	2	4
平成25年秋	2	0	2	2	0	2	4	0	4
平成26年春	1	0	1	0	0	0	1	0	1
平成26年秋	1	0	1	0	0	0	1	0	1
平成27年春	4	0	4	0	1	1	4	1	5
平成27年秋	2	0	2	4	0	4	6	0	6
合計	71	17	88	32	4	36	103	21	124

(3) 一般推薦により推薦された者の受章者の分類

分 類	勲 章	褒 章	合 計
人目につきにくい分野	31	29	60
多数の分野で活動	32	0	32
その他	25	7	32
合計	88	36	124